

令和6年度 ベストプラクティス企業との意見交換

毎年11月の過重労働解消キャンペーンの一環として、長時間労働削減に積極的に取り組む県内企業と鹿児島労働局長が意見交換を行っております。これは、過重労働解消に向けた機運の醸成を図るため、取引先と協力して長時間労働削減に向けて積極的に取り組んでいる県内企業の取組事例を収集するとともに、県内に幅広く紹介することを目的としております。

今年度は鹿児島労働局長が霧島市の「**ヤマグチ株式会社**」を訪問し、発注者である国土交通省九州地方整備局、鹿児島県土木部等を交えて意見交換を行いました。

COMPANY DATA 企業データ

優れた生産性と豊かな人間性で地域に愛される総合建設業

- ・社名 ヤマグチ 株式会社
- ・業種 総合建設業
- ・代表者 代表取締役 山口 克典
- ・本社 鹿児島県霧島市牧園町宿窪田1960
- ・従業員数 115名(男性 101名・女性 14名)
- ・経営理念 顧客志向 人間尊重 社会貢献



永野労働局長、山口代表取締役社長、山口代表取締役副社長、発注者らとの対談 (※)

※ 国土交通省九州地方整備局、鹿児島県土木部、建設業協会



【永野労働局長】

建設業は、これまで他の産業に比べて労働時間が長い実態にありますが、その背景には、建設業の特性や、発注者との取引慣行の問題など個々の企業の努力のみでは解決できない課題もございます。過重労働を解消し、県民の皆様が、安全で健康に働くことができる環境を整備することが、若者の県内就職・定着の促進につながり、人材確保にも有益で、企業の発展にもつながると考えております。



【山口代表取締役副社長】

建設業における労働者の高齢化や人出不足等に直面したことをきっかけとして「働き方改革」にいち早く取り組んでいらっしゃるそうです。そこには、経営理念の一つでもある地域・社会に貢献していくというヤマグチ株式会社の強い想いが感じられました。そして、労働時間を削減するためには自社で努力することはもちろんですが、発注者の協力が必要不可欠であることをご説明いただきました。

※ 働き方改革の具体的取組等は次のページ

働き方改革に関する主な取組内容

以下、ヤマグチ株式会社説明資料より一部抜粋

ヤマグチの強み ①

ICTの技術活用で 顧客ニーズに応える

自動追尾式トータル
ステーション

土木部にIT推進課を設置し
技術者の養成

ドローンによる空撮

本社にハイスペックな
情報処理システムを整備

遠隔臨場の導入

受発注者間情報共有システム
(ASP)



ヤマグチのDX

クラウド化、データ共有

「Google Workspace」を導入

「Google Drive」にてデータを一元管理



- ◆社内外での超高速なデータ共有
- ◆常に最新のデータへのアクセスを場所を選ばず実現
- ◆場所を選ばずパソコンやモバイル端末からのアクセスを実現
- ◆USBメモリ等での保存・持ち歩きによる紛失リスク等の低減
- ◆旧現場のデータ閲覧
- ◆他現場との情報共有



【遠隔臨場の導入】 発注者の協力を得て、スマートフォン等を使用して、事務所にいながら施工現場の進捗状況の確認を行っています。遠隔で行うことによって、移動時間の削減につながるだけでなく、現場の安全性も高まっているのだといいます。

【鹿児島県土木部】 Q・遠隔臨場は工事全体の中でどの程度進んでいるのでしょうか。

【山口社長】 A・すべての工事に導入されているかといえばまだまだ難しいと思います。今後も公共工事や民間工事にかかわらず、発注者の理解を得ていくことが大事です。

【ドローンによる空撮】 ドローンを使用した空撮・測量の様子について説明をいただきました。従来と比べて、作業時間がおおよそ1/5に短縮され、尚且つ独自の技術力によって誤差は1~2cm程度とのことです。単に機械を導入するだけでなく、2016年にIT推進課を立ち上げて技術者の育成に取り組むなど、現場の理解を得る努力もされてきたといいます。



建設ディレクター制度の採用

建設ディレクターの主な仕事

現場書類作成

図面作成・修正

写真管理



バックオフィスから
技術者を専門的にサポート。

建設業の課題解決の
キーパーソンです。



建設ディレクター（以下「建設D」とします。）から業務内容等について説明をいただきました。未経験で入社して、今ではすっかり現場からは頼られる存在になっているとのことです。現在9名（うち女性8名）が建設Dとして活躍されています。

従来の現場代理人の業務から、書類作成などの補助的な業務を分離し、バックオフィスで現場をサポートする建設Dを採用。建設Dが補助的業務を集中して担うことで、現場代理人は現場管理業務に注力できるとともに、業務負担の軽減に大きく効果をみせています。

【国土交通省九州整備局】 Q・採用活動に当たって、「建設D」職として募集しているのですか？

【山口副社長】 A・そうです。「建設D」として募集し続けることで、理解を得るまで苦労しましたが、今では学校の先生から生徒さんに「建設D」という職種を紹介していただける機会も多くなりました。

意見交換を終えて…

【山口代表取締役社長】

ベストプラクティス企業に選んでいただき、責任の重さと同時に、まだまだよりよく働きやすい環境を作っていかなければいけないと自覚しているところです。

現在、働いている従業員はもちろんですが、たくさんの方に「ヤマグチで働きたい」と思ってもらえるような企業にしていきたいと考えております。先代の創業者の精神を受け継ぎ、みんなで仲良く明るく楽しい、そして働きやすく働きたいと思えるような職場にしていきたいと思っております。



左から、国土交通省九州地方整備局、労働基準部長、山口社長、永野労働局長、山口副社長、鹿児島県土木部、鹿児島県建設業協会